

【環境特集】 廃棄物

## 家庭ゴミを減量する試験的な取り組み（英国）

政府は、財政的なインセンティブを通して地方自治体が家庭ゴミを減量するために、試験的な取り組み（パイロットスキーム）の実施案を作成し、意見募集を行っている。

地方自治体からの要請に応じて、環境食料農業省(Defra)は 2007 年 11 月、イングランド内の最大 5 つの地方自治体に対する試験的なインセンティブ方式の実施を認める旨、発表した。この取り組みを実施する権限は、気候変動法の一部として審議されている。環境大臣による承認を得て、最初の試みは 2009 年 4 月から開始の予定である。

このスキームは、家庭から出るリサイクルされないゴミの量に応じて、課徴金を課す、あるいは払い戻しを行うというものである。すなわち、最もゴミの量が少ない家庭への払い戻しのみになるか、最も多くのゴミを出した家庭に課徴金を課し、ここから得られた課徴金を最もゴミの量が少ない家庭に払い戻す方式になるかが議論されているのである。このスキームは「税収中立」でなければならない。従って、課徴金によって得られた資金は、払い戻しに使われる。地方自治体は自ら収入を手元に置いておくことはできない。

Joan Ruddock 環境大臣は、地方自治体に書簡を送りスキームのための計画を募る予定である。締め切りは、気候変動法案が女王の裁可（Royal assent）を受けてから 8 週間後である。

Joan Ruddock 氏は以下のように述べている。

「こうしたスキームをすでに実施している国々を見れば 50 ポンド(約 1 万円)程度の課徴金・払い戻しで十分に人々の行動が変わり、ゴミ減量化という利益をもたらすことが分かります。

どのような方式にするかは地方自治体が決めることとなります。というのも、彼らがその地域の状況に最もふさわしい方法を知っているからです。しかし、守るべきいくつかの重要な原則があります。たとえば、良質なリサイクルサービスが必要なこと、また、経済的に不安定な家庭に対する配慮が必要なことです。この実施案は、どのような方式を採用しようと、スキーム実施のプロセスを通じて地方自治体当局を支援することを目的としています。

私たちは、ゴミ減量のためのスキームがどのように機能するかについての考えを共有し、人々の意見を聞きたいのです。私はこの問題に関心のある全ての人に、非公式な協議に貢献するよう奨励しています。この実施案は現段階のものなので、得られたコメントに照らして修正・改正するつもりです。」

指針は6部構成で、それぞれがスキームの異なる要素を扱っている。

- ・申請と指名
- ・技術的な問題
- ・財務
- ・適用範囲と不利益を被るグループ
- ・権限のない保管または処分（不法投棄防止）
- ・良質なリサイクルサービス

このスキームのモニタリングと評価に関する詳細は、年内に利害関係者と共有される。

Joan Ruddock 氏は更にこう付け加えた。

「私たちは、実施案の発表が法案を審議している議会とスキームへの提案を策定している地方自治体の双方に役立つと期待しています。」

実施案の「良質なリサイクルサービス」に対するコメントの締め切りは7月11日で、その他の部分については7月25日が締め切りである。

実施案の更新版は気候変動法案が女王の裁可を得た後で発表される予定である。

## 注釈

実施案は、Defra のウェブサイト<sup>1</sup>から得られる

世帯主がゴミの排出量に応じて料金を支払う国も多くあり、これによりリサイクル率が上がっただけでなく、第一にゴミが減量された。

たとえば、オランダのマーストリヒト(Maastricht)では世帯主はゴミを処分するための特別な袋を購入する。リサイクル率は15%ポイント向上し、自治体の総ゴミ処理費用が20%減少した。

イタリアのトレヴィーゾ(Treviso)では、世帯主はリサイクルされないゴミの排出頻度に応じて料金を支払う。この方式により、ゴミの排出量が12%削減された。

スウェーデンのビューブ(Bjuv)では、世帯主はリサイクルされないゴミの重量に応じて請求される。この方式が導入された年にゴミの排出量は19%減少し、リサイクル率は49%上昇した。

翻訳：吉野 晴美

出典：<http://www.defra.gov.uk/news/2008/080619b.htm>

---

<sup>1</sup> <http://www.defra.gov.uk/environment/waste/strategy/incentives/>